

春日部市立医療センター 緩和ケア病棟

春日部市立医療センター
5N5E病棟 宮澤 知子



春日部市立医療センター 緩和ケア病棟軌跡

2007年 地域がん診療連携拠点病院として承認

2008年 専門職で構成される多職種による緩和ケアチームの結成

2016年 春日部市立医療センターとして移転

2017年 4月 緩和ケア病棟稼働開始

主治医継続型

2020年3月 COVID-19のため稼働停止



2024年7月より再開（4年4ヶ月ぶり）3床➡5床と増やしていく

主治医継続型 + 緩和ケアチーム連携、緩和ケア病棟医

多職種の専門職による緩和ケアの実践へ

2025年9月 10床にて運用開始（5E病棟として独立）



緩和ケア病棟の理念・基本方針



理念

患者さん・ご家族を中心に据え、**多職種**の関わりと**専門的緩和ケア**を通じて、**両者がその人らしい時間を過ごせる**ようにサポートします。

基本方針

- ①患者さんの抱える様々な辛さを、**多職種**の専門的緩和ケアで減らします
- ②患者さん・ご家族と**多職種**との**対話**を通じてケアを提供します
- ③患者さん・ご家族の**希望**の実現に向けて、**多職種**が一緒考えサポートします

専門的緩和ケアとは

基本的緩和ケアで辛さの改善が得られない場合

基本的緩和ケア



緩和ケアを専門とする**多職種緩和ケアチーム**



患者さんご家族に提供する医療ケア



主治医と連携しながら、辛さの改善をサポート

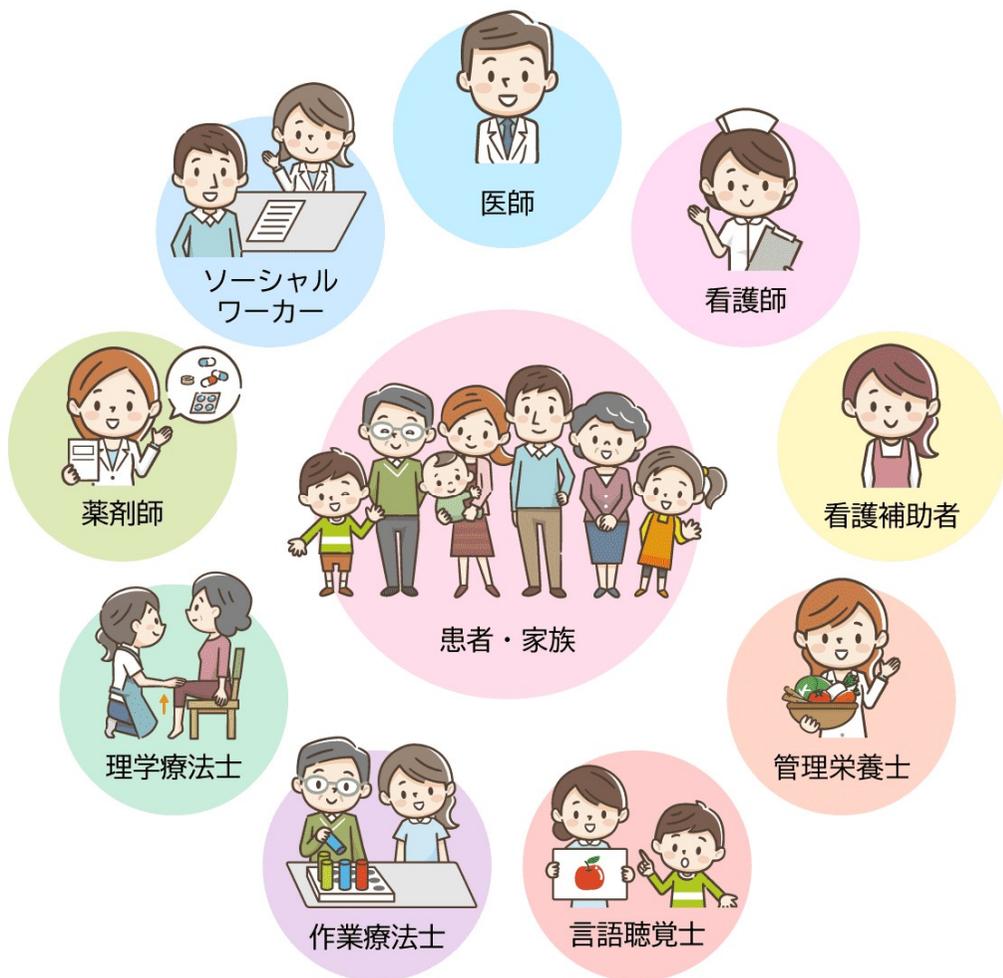
多職種って何？ 誰？

多職種とは

医療、介護、福祉などの分野で異なる
専門職が協力して働くこと

緩和ケア病棟では

主治医と緩和ケア医と一緒に患者様に関わっていきます。看護師・薬剤師・MSW・臨床心理士・理学療法士・作業療法士・言語療法士・歯科衛生士等の専門職が**カンファレンス**で検討し、**目標を共有**し、一緒に関わっていきます。



緩和ケア病棟でのカンファレンス（話し合い）

【多職種でのカンファレンス】

1. 入棟判定会議・朝イチ臨床倫理カンファ
(月・水・金)

(緩和ケア医・臨床心理士・MSW・看護師)

2. 気になる病棟カンファ
(月・水・金)

3. 多職種カンファレンス (水曜日)

- 1) リハビリ科・管理栄養士
薬剤師・歯科衛生士

- 2) 退院調整カンファレンス (水曜日)
(相談支援室：MSW)

4. ほっこりカンファレンス

【緩和ケア病棟入棟】

- ①緩和ケアチーム介入
- ②緩和ケア入棟同意書

患者様個々の辛さ等の**苦痛の軽減**をどのようにケアをしていこうか…
患者様・ご家族の方の**希望を叶える**には…等検討し援助に結び付けていきます

援助の実践等を**ほっこりしたことを**中心に振り返り、次につなげていきます

看取りの患者様への関わり

毎週水曜日多職種
カンファレンス

【入棟】
病棟面談シート
(患者様・ご家族
様)を用いて思い
を聴き、緩和ケア
医と面談

初期から
リハビリ介入：理学療法士
作業療法士
口腔ケア：歯科衛生士
嚥下機能：言語療法士 等介入

状態に合わせて少しでも今迄の
日常生活を大切に…

辛い思いが少しでも軽減出来る
ように…

出来なくなってきたことをサポート
して心地よい日常
生活を過ごすこと
ができるように…

初期から緩和ケア医による疼痛
コントロール等苦痛の軽減
臨床心理士・精神科医師の介入

動けないことの
苦痛がないよう
に…

二次的合併症の
予防

患者様・ご家族様
にとってよりより
時間となるように
…

ある日の臨床倫理カンファレンス

意思決定支援の必要な患者様

化学療法の継続？ 妻と一緒にいたいという**本人の思い**

治療が必要という**主治医の思い**

治療が必要と言われると治療はさせたいという**家族の思い**



何回も何回も**本人・家族の思い、病態を考慮しながら検討**

自宅退院の方向性へ

本人：グランドゴルフとボーリングが趣味（3回/週近所のボーリングで仲間と行う）



リハビリ等で心身機能の向上（ボーリングが出来る様になるために・・・）

せん妄状態で入棟前、安全带を使用していた時もあったが、せん妄も消失し、表情も改善



自宅退院へ

何回も多職種カンファレンスの実施

本人や家族の意向を確認していくことの重要性



**MSW・退院支援看護師
他介入**

**患者様の希望に合わせ
たリハビリ介入**

**精神神経科医師（リエゾ
ン）・臨床心理士介入**

患者様監修 看護師の手作りの飾りつけ お正月



患者様監修
5 E病棟看護師作
季節感を感じられる
アート作品